

新御殿場市立図書館実施設計概要

2023年7月



1. 御殿場市立図書館等整備事業の概要

1-1 事業概要

御殿場市立図書館は、施設の老朽化、蔵書・資料の増大によるスペースの不足、利用者の図書館ニーズの多様化への対応等が強く求められており、これまで検討を積み重ねてきました。

現在の場所に建て替えた場合、代替施設の準備が困難であり、また休館期間が長期になることから、移転新築することになりました。基本構想で新図書館の将来像を、「郷土を知り 学びを育み 相互につながる図書館」とし、郷土資料館を複合化した魅力あふれる新図書館を再整備するものです。



現在の御殿場市立図書館

これまでの事業経緯

- 平成 26 年度 | 市立図書館耐震補強及びリニューアル計画策定基礎調査
- 平成 27 年度 | 御殿場市立図書館整備方針策定調査
- 平成 28 年度 | 御殿場市立図書館等将来構想策定庁内検討委員会開催
- 平成 30 年度 | 移転新築への方針変更
基本構想コンセプト、理念、方針を審議・検討し、庁内意見を集約
- 令和元年度 | 御殿場市立図書館等整備基本構想策定懇話会 組織
市民ニーズの把握（利用者アンケート調査の実施）
関係団体へのヒアリング
- 令和 2 年度 | 「御殿場市立図書館等整備基本構想」策定（令和 3 年 1 月）※
- 令和 3 年度 | 御殿場市立図書館建設工事に係る設計者選定プロポーザル実施 ※
新図書館等設計業務着手（令和 4 年 1 月）
- 令和 4 年度 | 市民ワークショップ、小学生ワークショップ開催 ※
関係団体へのヒアリング
「御殿場市立図書館等整備基本計画」策定（令和 4 年 11 月）※
- 令和 5 年度 | 新図書館等実施設計業務完了（令和 5 年 6 月）

※ これまでの経緯に係る詳細を御殿場市ホームページに公開しています。

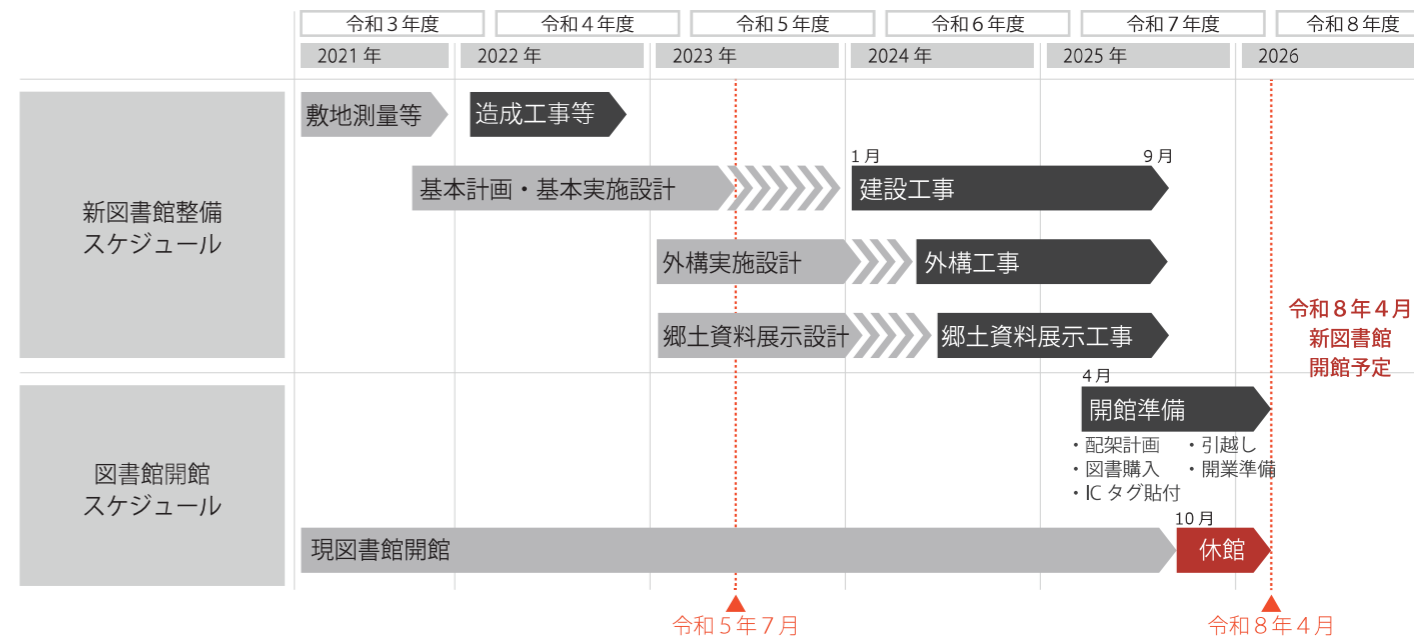
<p>令和 3 年 1 月 御殿場市立図書館等整備基本構想</p>	<p>令和 3 年度 設計者選定プロポーザルの結果</p>	<p>令和 4 年度 市民・小学生ワークショップ開催</p>	<p>令和 4 年 11 月 御殿場市立図書館等整備基本計画</p>
---------------------------------------	-----------------------------------	------------------------------------	--

1-2 新図書館開館までのスケジュール

令和 8 年 4 月の開館を目指し、事業を進めています。現在は建設敷地の造成工事が令和 4 年度に完了し、令和 5 年 6 月 30 日に建物の基本計画・基本実施設計業務が完了しました。

今後は、外構及び郷土資料展示の詳細設計を進めるとともに、令和 6 年 1 月に建物の建設工事に着手し、令和 7 年 9 月末まで工事を実施する計画としています。

令和 7 年度については、開館に向けた準備を行い、令和 7 年 10 月から現在の御殿場市立図書館を休館し、引越し作業を行った後、令和 8 年 4 月の開館を予定しています。



1-3 新図書館建設地



2. 計画概要



外観イメージ

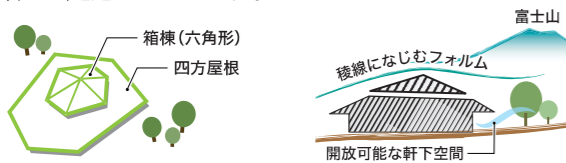
2-1 設計コンセプト

新図書館の実現に向け、風土と共にあった御殿場の伝統的な古民家が持つ4つの大きな特徴を取り入れ、訪れるすべての人をやさしく包み、知り・学び・つながる場「みくりや・ほんてらす」を基本コンセプトとしています。



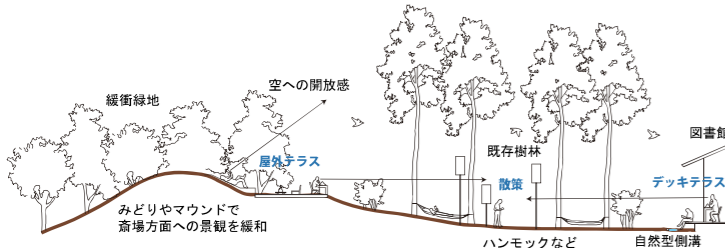
2-2 外観デザイン

- 六角形の箱棟は、御殿場市の誕生以前の旧6町村を象徴とし、市の成り立ちを表現しています。
- 富士山の稜線に馴染む緩やかな屋根フォルムとし、景観との調和に配慮しています。



2-3 外部空間

豊かな自然や景観を感じながら読書ができるデッキテラスや、散策路、読書イベントを想定した屋外テラスを設け、自然と文化が調和した図書館として計画しています。



2-4 内部空間

自然採光を取り入れた明るく開放的な大空間の下に、すのこ天井、羽目板壁などの御殿場の伝統的な古民家の特徴を取り入れた「コマ」を点在させ、多様な活動の場を設ける計画としています。



2-5 安全でインクルーシブな図書館

①耐震性能

大規模地震発生時の建物被害を少なくし、市民及び職員の安全確保と文化施設としての機能確保を図るため、高耐震性能を有する建物としています。

②バリアフリー

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、静岡県福祉のまちづくり条例に基づいた施設計画とし、高齢者や身体障害者、親子連れ等の利用に配慮します。

③多様な利用者への配慮

幅広い年代層からの意見を取り入れ、多目的会議室やグループ学習室、閲覧席、畳コーナーなどを充実し、多様な利用を想定した計画としています。

④子育て世代への配慮

授乳室や子どもトイレ、おむつ交換台、給湯室などの子育て世代に配慮した設備を充実し、子育て世代が訪れやすい計画としています。

2-6 木育

内装や家具などへ木材を活用し、木の温かみを感じられる空間とするとともに、地元産木材利用や、建設地伐採材の有効活用、木製玩具を設置するなど、木育に関する環境を整備します。

2-7 省エネ・省CO2

環境負荷低減に配慮した建築計画、高効率機器をはじめとする省エネルギー型設備の導入など、ライフサイクルを通じた環境負荷低減に配慮した計画とし、カーボンニュートラルの実現に取り組めます。

取組内容

- 断熱性、日射遮蔽性の高いサッシ、底の採用
- ハイサイドライトからの自然光の活用
- 高効率型空冷ヒートポンプ空調機の採用
- 居住域空調(床吹出)の採用による省エネ化
- LED照明の採用
- 各種センサーによる照明点灯制御による照明エネルギーの最小化

2-8 郷土資料

子どもから大人まで幅広い年代が楽しめる展示や体験コンテンツを設け、ふるさとへの「気づき」を入り口として、歴史と未来への学びの連鎖を育む郷土資料展示を計画します。

展示コンテンツ

- 御殿場の通史
- 映像展示
- 民俗資料展示
- 埋蔵文化財資料展示
- 御殿場トピック展示
- デジタル体験コンテンツ(御殿場MAPナビ、御殿場の泉)



2-9 ICTの活用

- デジタル利用者カード、ICタグを導入し、これらを活用した貸出・返却手続きや、本のセキュリティ管理を自動化することで、利用者サービスの向上を図ります。
- 館内フリーWi-Fi、館内案内や情報発信を行うデジタルサイネージを採用し、利用者の利便性の向上を図る計画としています。

2-10 計画概要

敷地概要

所在地	静岡県御殿場市萩原地内
都市計画区域	都市計画区域内 市街化調整区域
用途地域	指定なし
防火指定	指定なし
地域・地区	指定なし
基準建ぺい率	60%
基準容積率	200%
敷地面積	17,532.45㎡

建築概要

棟数	2棟(図書館、屋外通路上屋)
建物用途	図書館
[図書館]	
階数	地上2階
構造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造(混構造)
床面積	3,838.24㎡ (1階 3,366.42㎡ / 2階 471.82㎡)
最高高さ	17.1m
[通路上屋]	
階数	平屋
構造	鉄骨造
床面積	65.75㎡
最高高さ	3.03m

電気設備概要

受電方式	高圧6.6kV 屋外キュービクル型
照明設備	全館LED
弱電設備	電話、構内LAN、無線LAN(配管)、テレビ共聴、映像音響機器、入退室、インターホン
防災設備	非常放送、自動火災報知、自動閉鎖、誘導灯、非常照明

機械設備概要

空調方式	直膨型空調機、ビル用マルチエアコン
給水	水道直圧式
排水	合併浄化槽
ガス	プロパンガス
消火設備	屋内消火栓設備

昇降機設備概要

乗用エレベーター	11人乗 1台
----------	---------

3. 配置計画

3-1 建物配置

- 起伏のある敷地条件を活かした配置計画とし、富士山への眺望を確保しながら、冬の冷たい風は築山とシセキ(風除けの樹林帯)で緩和します。
- 既存樹林の良好な景観を活かせるよう、ガラスで囲われた視線の抜けるオープンな計画としています。
- 市民交流センター「ふじざくら」へのアクセスに配慮した歩行者動線計画としています。

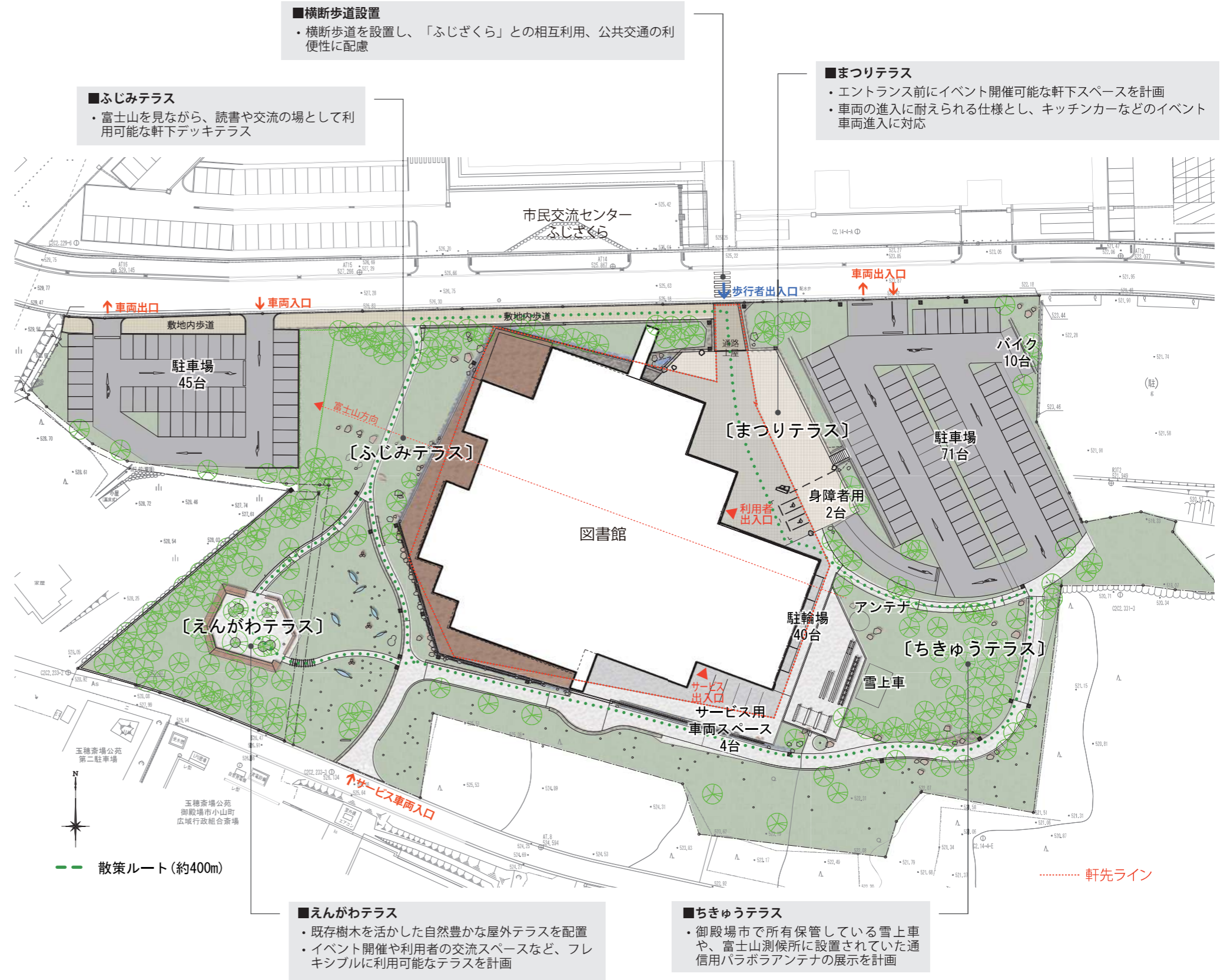
3-2 駐車場配置

- 駐車場は車路幅員のある北側道路からのアクセスを基本とし、南側道路への通り抜けや、サービス車両動線なども考慮した車路配置としています。
- イベントスペースとなる「まつりテラス」や身障者用駐車場を屋根下に配置することで雨、雪等の悪天候時の利便性に配慮しています。
- サービス車両出入口は管理部門に直接面し、使いやすい南東側に配置しています。

3-3 動線計画

- メイン駐車場に面した建物北東側に出入口を設け、アクセスしやすい計画としています。
- 北側道路に面して歩道を整備し、西側駐車場利用者や「ふじざくら」との連携利用者の動線に配慮しています。

■駐車場計画台数	
一般利用者用	116台
身障者用	2台
バイク	10台
自転車	40台
サービス用	4台



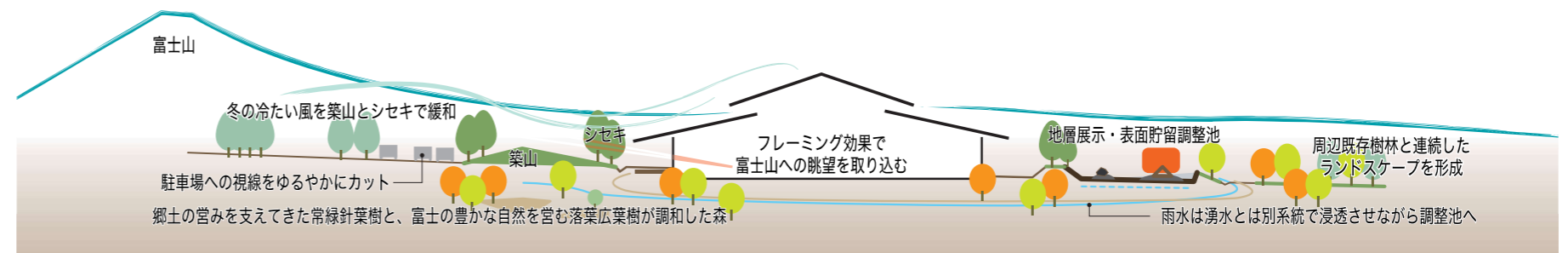
■横断歩道設置
 ・横断歩道を設置し、「ふじざくら」との相互利用、公共交通の利便性に配慮

■ふじみテラス
 ・富士山を見ながら、読書や交流の場として利用可能な軒下デッキテラス

■まつりテラス
 ・エントランス前にイベント開催可能な軒下スペースを計画
 ・車両の進入に耐えられる仕様とし、キッチンカーなどのイベント車両進入に対応

■えんがわテラス
 ・既存樹木を活かした自然豊かな屋外テラスを配置
 ・イベント開催や利用者の交流スペースなど、フレキシブルに利用可能なテラスを計画

■ちきゅうテラス
 ・御殿場市で所有保管している雪上車や、富士山測候所に設置されていた通信用パラボラアンテナの展示を計画



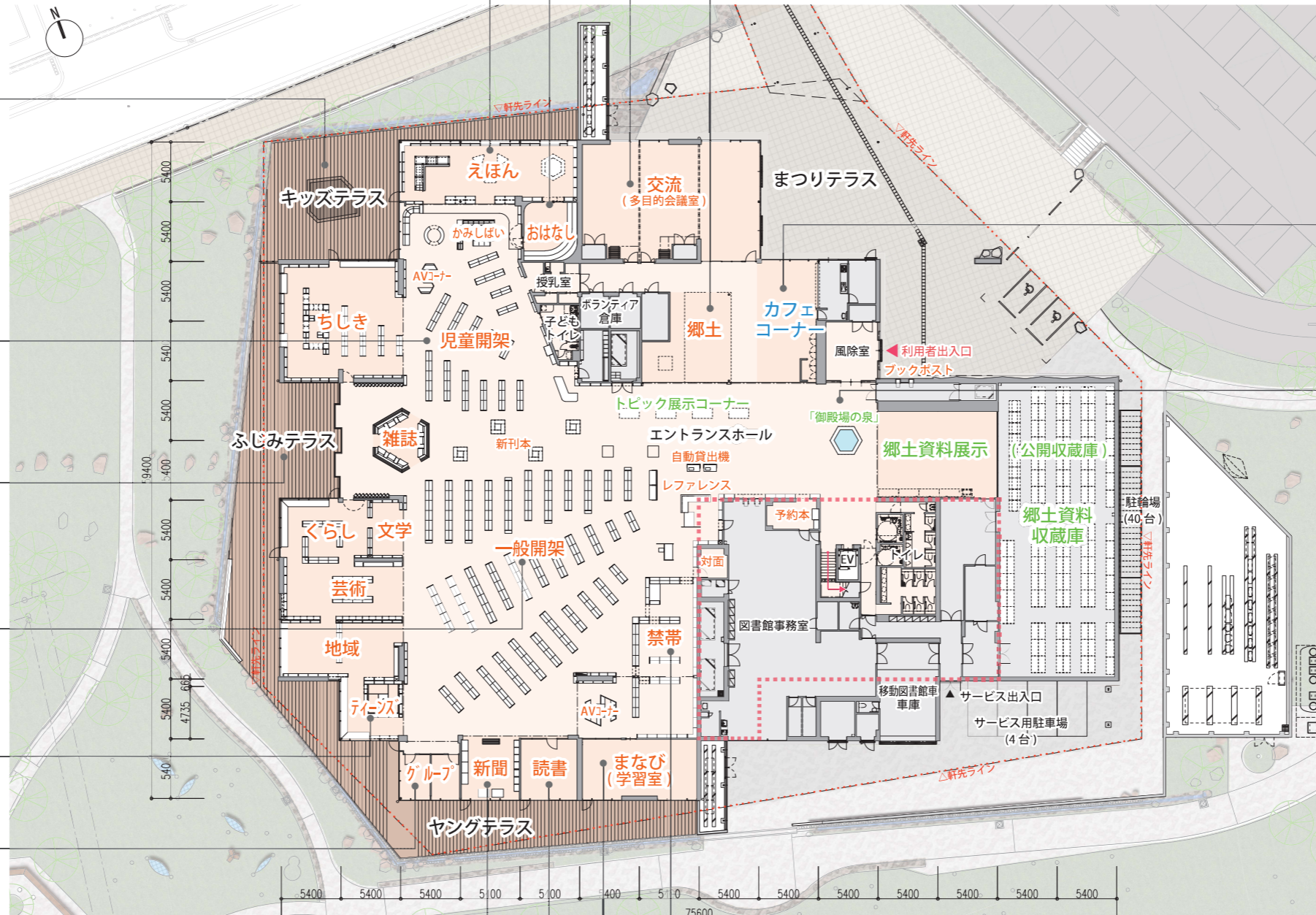
4. 平面計画

4-1 全体計画

主な図書館機能、郷土資料機能を1階に集約したワンフロアの構成とし、利用者に分かりやすくバリアフリーとなる計画としています。

施設全体を囲うように、テーマを設定した「コマ」を配置し、伝統的な古民家の特徴を取り入れた居心地の良いコマ空間（居間空間）の中で利用者の多様な活動の場を提供できる御殿場にしかない図書館としています。

1階平面図 S=1/500



- キッズテラス**
 - 本を持ったままテラスに出ることができ、開放的な屋外空間で音を気にせず過ごせるテラス

- コマ (図書部門)**
 - 各コマにはテーマを設定し、日本十進分類法 (NDC) の分類にこだわらない配架計画とし、思いがけない本との出会いや利用者の学ぶ意欲を喚起

- 児童開架エリア**
 - 一般開架から離れた位置に「にぎやか」な児童開架スペースを配置し、音環境に配慮することで、子育て世代が気兼ねなく図書館を利用できるよう計画
 - 授乳室、子どもトイレを設置

- ふじみテラス**
 - 富士山を正面に臨むラウンジとテラスの一体空間
 - 直接本を持ってテラスに出ることが可能なセキュリティ計画とし、半屋外空間で読書を楽しむことができる

- 一般開架エリア**
 - レファレンスカウンターを中心に放射状に書架を並べた分かりやすい書架配置

- ティーンズのコマ**
 - 読書やコミュニケーションの場として利用可能な掘りごたつコーナーを設置

- グループのコマ**
 - グループ学習やグループ作業など若者世代の多様な活動ニーズに対応可能なスペースを配置 (最大7名利用×2室)

■閲覧席数	
1F 一般開架	170席
1F 児童開架	85席
1F カフェ	30席
2F 公開書庫	30席
屋外テラス	85席
計	400席

- おはなしのコマ**
 - 読み聞かせコーナー
 - 子ども向け映像放映、子ども向けデジタル学習コンテンツの設置を予定

- えほんのコマ**
 - ネットアスレチックや木製玩具を設置
 - クッション性のある床材とし、小さな子どもが本と触れ合える環境を計画

- 交流のコマ**
 - 生涯学習や会議、展示会利用など多様な活動を想定した多目的会議室 (最大3室に分割して利用可 108席)
 - 会議机、プロジェクター、音響設備、学校タブレット連携、展示パネルを配置

- 郷土のコマ**
 - 畳スペース (10.5畳) や縁側、土間のある古民家のような空間に郷土資料を配架、展示した図書館と郷土を融合したスペース
 - 民俗資料のデジタルアーカイブモニターを設置予定
 - 民具の体験教室や読書、コミュニケーションの場として計画

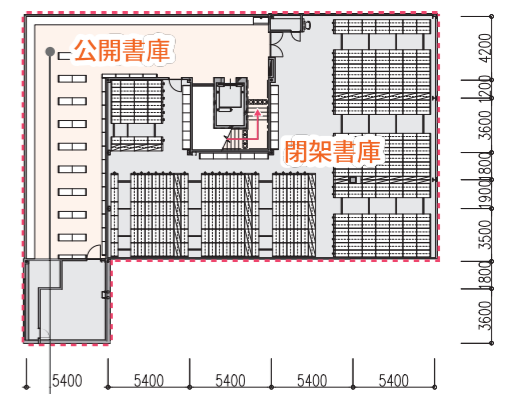
- 新聞のコマ**
 - 大きな文字で新聞を読むことが可能な電子新聞を配置 (2台)

- 読書のコマ**
 - 静かな場所で読書を楽しむことができるスペース

- 禁帯出資料 (禁帯本) コーナー**
 - 現図書館で利用率の高い禁帯本コーナーを配置

- まなびのコマ (学習室)**
 - 静かな環境エリアに配置
 - 間仕切り付の個人席とし、学習に集中しやすい環境を整備 (30席)

2階平面図 S=1/500



- 公開書庫**
 - 利用者が自由に入室できない閉架書庫の一部を公開し、利用者が自由に入室できる開架書庫を計画
 - 1階フロアを見下ろすことができる開放的な閲覧席を設置

- カフェコーナー**
 - 図書館との一体利用が可能なカフェ (30席)
 - 利用者の休憩、コミュニケーションの場として利用可能
 - 「まつりテラス」側からの利用を想定した配置

- 御殿場の泉 (デジタル体験展示)**
 - 御殿場に欠かすことができない水辺の空間について、「湧き水」をモチーフとしたデジタル体験展示で演出
 - 御殿場の魅力を、富士山、信仰、民俗・芸能、人物、産業、観光など多面的に発信し、郷土の魅力を発見するコンテンツを計画

- 郷土資料展示室 (公開収蔵庫)**
 - 御殿場の自然環境で暮らしてきた先人たちの歴史を知ることができる常設展示室

展示コンテンツの方針 (展示詳細検討中)
御殿場の通史 ▶ 縄文から現代までの御殿場の歴史をグラフィック、モニター、資料で紹介

公開収蔵展示 ▶ 郷土資料収蔵庫の一部をガラスとし、郷土資料や富士山測候所の資料を公開収蔵展示で紹介

富士山と御殿場 ▶ 富士山と御殿場の係わりを自然と気候、人々の営みまでを解説映像で紹介

御殿場MAPナビ ▶ 床の地図グラフィックにあるQRコードをスマホやタブレットをかざして御殿場探索

■計画蔵書数	
開架	16.4万冊 (一般10.0万冊/児童4.8万冊/公開書庫1.6万冊)
閉架	16.0万冊
計	32.4万冊
AV資料	5,500点 (一般3,750点/児童1,750点)
雑誌	128誌
新聞	開架 12紙 (閉架 新聞60年分/製本版45年分/大型600冊)

5. 完成イメージ



外観イメージ
(敷地東側より富士山方向)



内観イメージ①
(エントランスホールより雑誌のコマ方向)

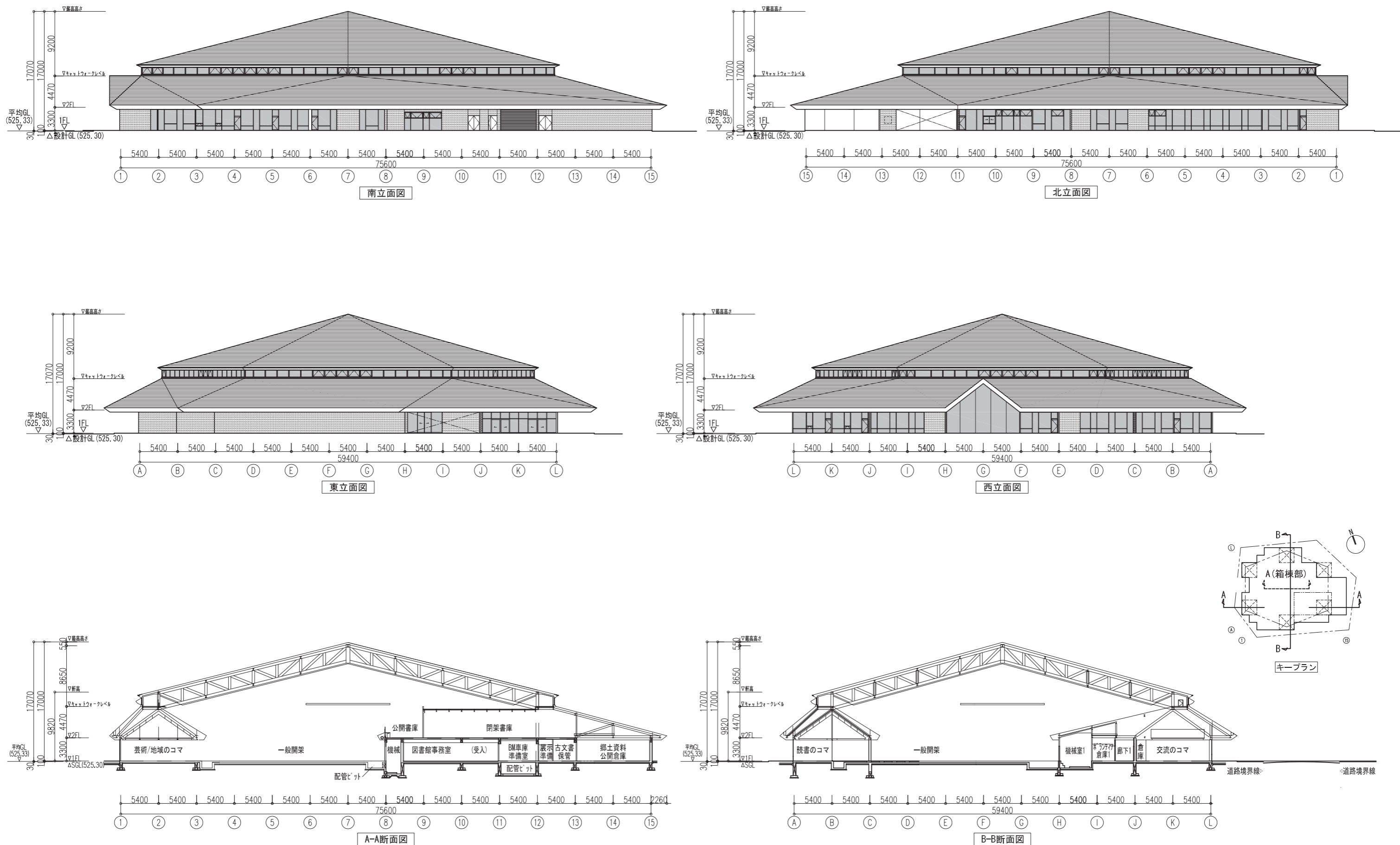


内観イメージ②
(“郷土のコマ”付近より2階方向)



内観イメージ③
(“えほんのコマ”より児童開架方向)

6. 立面図・断面図



S=1/500